

国保運動の先頭に立ちたいと

力強い決意表明



5月16日に内本町コミュニティセンターを会場にして、「国民健康保険制度が危ない！緊急学習会」が開催されました。吹田民主商工会、吹田生活と健康を守る会、新日本婦人の会吹田支部、吹田社会保障推進協議会などから40名が参加しました。阿部社保協会長の開会あいさつの後、西尾常務理事が講演をしました。まず国保都道府県化の狙いが医療費の適正化（医療費抑制）にあり、考案の基礎には2012年の「社会保障制度推進法」にあるように権利としての社会保障の解体にあることを指摘しました。次に大阪府が国の求めている方向で強引に保険料や減免制度等の統一化へ向かっていることを報告しました。国保が統一されると、①保険料の大幅値上②独自の減免制度の廃止、後退 ③一般会計からの法定外繰入の廃止、大幅削減 ④保険料の徴収強化 ⑤医療費の削減競争が強化されると指摘されました。最後に、運動としてキャラバンへの参加、大阪社保協北摂ブロックで予定されている統一署名の推進、参議院選挙の重要性などを提起しました。

民商の岡崎副会長は「今でも高い保険料が統一化でさらに高くなります。徴収ではサラ金まがいの取立てをします。早急に世論化を図るため運動の先頭に立ちます。一生涯の今井副会長は「国保料の通知が6月に来ます。減免の相談会を6、7ヶ所でやる計画をたてています。市民の生活は困難をきわめています。生健会は可能な限りの運動をすすめます。」新婦人役員の平岡さんは「私たちの望まない方向にすすめているのに腹がたちます。黙っていられないので学びながら大きな運動にしていきたいと思います。」と各団体から決意表明がありました。閉会のあいさつを藤原社保協国保部会長が行いました。

北摂・豊能ブロック

統一国保問題緊急キャラバン

大阪社会保障推進協議会が5月17日に吹田市国民健康保険室と大阪府が推し進める「統一国保」の問題で懇談を行ないました。この懇談は北摂・豊能地域の10市町の緊急自治体キャラバンとして行なわれました。大阪社保協の寺内事務局長、吹田社会保障推進協議会国保部会の吹田民主商工会、吹田生活と健康を守る会、新日本婦人の会吹田支部、大阪歯科保険医協会北摂支部、全日本年金者組合吹田支部、障害児者を守る連絡協議会などから24名が参加しました。吹田市の国民健康保険室からは堀室長をはじめ3名が出席しました。

「賦課決定権は市町村」と明言

吹田市国保室は今回の大阪府の統一国保の問題に対して、「市長には昨日説明したところで、市としての考えはまだない（まとまっていない）」と断ったうえで、吹田市国民健康保険室の担当者としての考えを明確にしました。保険料の府下統一に対しては、今回の都道府県化でも法的に賦課決定権（国保加入者の保険料を決める権限）は各市町村に残っていると回答。さらに自治体が独自の判断で住民生活に配慮して保険料を決めているところを統一に変えろというのは地方自治の本旨からどうなのかと疑問を呈しました。また、大阪府から累積赤字を都道府県化までに解消を求められている問題でも、国も『やむえない場合に限り』と2年以内の解消を絶対にはしていないこと、都道府県谷谷化になればこれまでの累積赤字には一般会計繰入しかないという基準を明確に示す回答でした。

世論の後押しが必要

同時に「吹田の負担が増えるから反対と言うだけでは、大阪府全体の世論の賛同が得られない。」「保険財政安定化共同事業では北摂の市町村の利害が一致していたが、今回は利害がちよつと違う状況になっている。」と厳しい状況もわかりました。

懇談会が終わってから、参加者で感想を交流しました。新婦人の大西さんは「以前（前の自治体キャラバン）より踏み込んで話してくれたと感じています。是非市民のためにどうするかをしっかりと押さえてほしい。」新婦人の平岡さんは「世論の後押しとの言葉にズンときた。私たちが頑張らないといけない気持ちになった。」民商の村上さんは「国保は命を守る制度であるのに、収納事務、差押えの基準も統一にさせては自殺に追いこむ、命を奪う制度になってしまふ。大変なことだと思う。」歯科保険医協会の永松さんは「私たちが運動が支えないと、これから考えないといけない。」とそれぞれ感想を話していただきました。

最後に大阪社保協の寺内さんは、「これから議員との連携や、多くの会派にも申入れが必要になります。また調整会議の委員に門真市が入ることになりました。門真市は大阪社保協でも緊急調査で訪問活動をしました。非常に低かった収納率を一気に引き上げるほど、大阪で一番徴収と差押えが厳しい自治体です。収納対策も統一化の対象事務になっています。吹田市は収納でも基準を作り、低所得者を守る仕組みを持っています。議員さんにもこれらの仕組みを理解してもらい、運動を進めましょう。」と報告されました。



商工新聞は経営のヒント・いらしの知恵がいっぱい 毎週必ず届けましょう
会費集金は会員の心をあつめる活動です 毎月10日までには集めましょう